

平成 25 年度

# 学生募集要項

博士後期課程 **春学期入学者選抜試験**

博士後期課程 **秋学期入学者選抜試験**

## 情報科学研究科

- 平成 25 年度春学期入学者選抜試験第 1 回－第 2 回
- 平成 25 年度秋学期入学者選抜試験第 1 回

## バイオサイエンス研究科

- 平成 25 年度春学期入学者選抜試験第 1 回－第 2 回

## 物質創成科学研究科

- 平成 25 年度春学期入学者選抜試験第 1 回－第 2 回
- 平成 25 年度秋学期入学者選抜試験第 1 回



奈良先端科学技術大学院大学

<http://www.naist.jp/>

博士後期課程へ出願を予定されている方は、志望研究室の教授と連絡を取って事前に研究室の研究内容等を十分に把握してください。

---

## 目 次

《奈良先端科学技術大学院大学の教育方針》

《アドミッションポリシー》

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続等	
(1) 出願期間	2
(2) 入学検定料の振り込み	2
(3) 出願方法	2
(4) 受験票等の送付	2
(5) 出願書類等	3
(6) 出願に際しての注意事項	3
4. 選抜方法等	4
5. 合格者の発表及び入学手続	5
6. 入学時納付金	5
7. 出願資格(11)(12)の者の資格審査	6
8. その他	6

- \* 入学願書
- \* 受験票・写真票・振込受付証明書
- \* 各種通知等受信票

# 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

## ●目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

## ●教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」「バイオサイエンス」および「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点をあわせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」および「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

## ●人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

## ●教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図ると共に、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

# アドミッションポリシー

---

## ●全学のアドミッションポリシー

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。

---

## ●情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力をもった人を求めます。

1. 博士前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力をもった人。
2. 博士後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力をもった人。

---

## ●バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

1. 生命現象の基本原則と生物の多様性を分子レベルおよび細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
2. バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

---

## ●物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

1. 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
2. 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

## 平成 25 年度博士後期課程入学者選抜試験日程概要

研究科	試験区分	出願期間	選抜期間	合格発表	入学手続
情報科学 研究科	第 1 回	H24. 8. 20～8. 22	H24. 9. 10～9. 14	H24. 9. 21	H25. 2 下旬
	第 2 回	H25. 2. 4～2. 6	H25. 2. 25～2. 27	H25. 3. 1	H25. 3 下旬
	秋学期第 1 回				H25. 9 下旬
バイオサイエンス 研究科	第 1 回	H24. 9. 3～9. 5	H24. 10. 9～10. 10	H24. 10. 22	H25. 2 下旬
	第 2 回	H25. 2. 4～2. 6	H25. 2. 28～3. 1	H25. 3. 11	H25. 3 下旬
物質創成科学 研究科	第 1 回	H24. 7. 30～8. 1	H24. 8. 27～8. 30	H24. 9. 3	H25. 2 下旬
	第 2 回	H25. 2. 12～2. 14	H25. 3. 6～3. 7	H25. 3. 11	H25. 3 下旬
	秋学期第 1 回				H25. 9 下旬

博士後期課程へ出願を予定されている方は、志望研究室の教授と連絡を取って事前に研究室の研究内容等を十分に把握してください。

## 1. 募集人員

募集単位	専攻名	募集人員※
情報科学研究科	情報科学専攻	40名 秋学期募集人員若干名を含む
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	37名 秋学期募集人員若干名を含む
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻	30名 秋学期募集人員若干名を含む

※ 募集人員は、3研究科とも学内進学者を含めた人員です。

## 2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第4項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
- (2) 修士の学位又は専門職学位を平成25年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成25年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を平成25年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (8) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を平成25年3月31日までに授与される見込みの者
- (9) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (10) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を平成25年3月31日までに授与される見込みの者
- (11) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (12) 本学において、個別の資格審査（〔注〕2参照）により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成25年3月31日までに24歳に達する者

- 〔注〕 1. 秋学期入学に出願する者は、上記出願資格(2)(4)(6)(8)(10)(12)の平成25年3月31日を平成25年9月30日と読み替えてください。  
2. 出願資格(11)又は(12)によって出願する者については、事前に資格審査を行いますので、6頁の「7. 出願資格(11)(12)の者の資格審査」により申請してください。

### 3. 出願手続き等

#### (1) 出願期間

試験区分		出願期間	備考
情報科学研究科	第1回	平成24年8月20日(月)～8月22日(水)	平成25年度秋学期(第2回)募集要項は平成25年4月頃発表する予定です
	第2回 (秋学期第1回)	平成25年2月4日(月)～2月6日(水)	
バイオサイエンス研究科	第1回	平成24年9月3日(月)～9月5日(水)	平成25年度秋学期募集要項は平成25年4月頃発表する予定です
	第2回	平成25年2月4日(月)～2月6日(水)	
物質創成科学研究科	第1回	平成24年7月30日(月)～8月1日(水)	平成25年度秋学期(第2回)募集要項は平成25年4月頃発表する予定です
	第2回 (秋学期第1回)	平成25年2月12日(火)～2月14日(木)	

#### (2) 入学検定料の振り込み

- ・ 本学所定の「検定料振込依頼書」(C票)により検定料30,000円を金融機関(ゆうちょ銀行は除く)の窓口で振り込んでください。ATM・ネットバンキングでの取り扱いはできません。
- ・ 振り込み後、「振込受付証明書」(A票)を出願書類の所定の箇所に貼付してください。(A票とB票の2ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを必ず確認してください。)

なお、国費留学生については、検定料は不要です。また、本学以外の大学に在学している国費留学生は大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。

#### (3) 出願方法

- ・ 出願書類は一括して、本学所定の封筒、もしくは角形2号(33cm×24cm)封筒に入れて下記あて書留速達にて郵送又は、持参してください。

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5  
奈良先端科学技術大学院大学 学生課入試係

- ・ 郵送の場合は、出願期間内に郵送されたもので、本学に到着した分を受理します。**(出願期間内消印有効)**
- ・ 持参の場合は、出願期間内の平日の9時～17時(12時～13時及び祝日を除く)に受理します。
- ・ 出願回数に制限はありませんが、出願手続はその都度行う必要があります。
- ・ なお、出願書類は本学ホームページ(<http://www.naist.jp/>)からダウンロードすることも可能です。必要事項を入力の上、プリントアウトしてください。

#### (4) 受験票等の送付

出願書類を受理した後、受験票及び受験者心得を、受験票等送付用封筒(速達)にて選抜期間の一週間前までに送付します。

なお、上記の期間までに到着しない場合は、学生課入試係〔電話 0743(72)5083〕に問い合わせてください。

(5) 出願書類等

以下の〈 〉内以示す条件に該当する者は、それぞれの当該必要書類を必ず提出してください。

〈出願者全員〉

出 願 書 類 等		備 考
a	入学願書	本学所定の様式。
b	受験票・写真票	本学所定の様式。
c	振込受付証明書	本学所定の様式。 国費留学生については、「振込受付証明書」は不要です。
d	大学院博士前期(修士)課程に係る修了(見込)証明書	出願資格を満たす大学院等の修了(見込)証明書。 出願資格(11)又は(12)に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳を添付してください。
e	大学等に係る成績証明書	出身大学長又は、学部長等が作成したもの。 出願資格(11)又は(12)に該当する者は不要です。 ※バイオサイエンス研究科に出願する者は不要です。
f	大学院博士前期(修士)課程に係る成績証明書	出願資格を満たす大学院等の成績証明書。 出願資格(11)又は(12)に該当する者は不要です。
g	これまでの研究概要	様式随意。 A4判用紙5枚以内(片面のみ記述)。和文・英文いずれも可。 カラー印刷不可。各ページに必ず氏名を記入し、ホッチキスなどで綴じないでください。 なお、研究に関する発表論文があれば、別刷等を添付してください。
h	当研究科での研究計画	様式随意。 A4判用紙2枚以内(片面のみ記述)。和文・英文いずれも可。 カラー印刷不可。各ページに必ず氏名を記入し、ホッチキスなどで綴じないでください。
i	各種通知等受信票	本学所定の様式。必要事項を記入してください。
j	受験票等送付用封筒	本学所定の封筒もしくは、 <u>長形3号</u> (24cm×12cm)の封筒に350円の切手を貼り、住所・氏名を明記し、朱書きで速達と記入してください。

〈企業等から派遣される場合〉

出 願 書 類 等		備 考
k	出願承認書	様式随意。企業等から派遣されることが明示されているもので、しかるべき責任者が作成したもの。

- ・ 上記書類が提出できない場合は、その旨を記述した理由書を提出して下さい。(様式随意)

(6) 出願に際しての注意事項

- ・ 身体に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に学生課入試係〔電話 0743(72)5083、E-mail exam@ad.naist.jp〕に相談してください。
- ・ 出願書類等に不備がある場合は原則として受理しませんので、十分注意してください。出願前に提出用封筒裏面の出願書類チェック表で内容物を確認願います。又、出願後は原則として記載事項の変更を認めません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

## 4. 選抜方法等

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、次の事項により判定します。

情報	① 成績証明書 ② 面接による英語能力又は日本語能力の試問 ③ 面接による専門知識の試問 ④ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問 ⑤ 出願資格(2)(4)(6)(8)(10)の者に関しては上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、④及び⑤に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて20分程度にまとめてください。
バイオ	① 成績証明書 ② 面接による専門知識及び英語能力の試問 ③ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問 ④ 出願資格(2)(4)(6)(8)(10)の者に関しては上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、③及び④に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて15分程度にまとめてください。
物質	① 成績証明書 ② 面接による英語能力の試問 ③ これまでの研究概要及びこれからの研究計画の発表とそれに基づく試問 ④ 出願資格(2)(4)(6)(8)(10)の者に関しては上記に加えて修士論文に関する発表とそれに基づく試問も併せて行います。なお、③及び④に関する発表に用いる言語は日本語又は英語とし、併せて20分程度にまとめてください。 ⑤ ③及び④の試問を踏まえての専門知識の試問

・各研究科とも、発表には PC プロジェクターを用いることが出来ます。機器が必要な場合は、出願時に書面にて申し出てください。

### (2) 選抜期間及び場所

出願期間の区分に対応して次に定める期間のうち本学が指定した1日に選抜を行います。

試験区分		選抜期間	面接実施時間	場所
情報科学研究科	第1回	平成24年9月10日(月)～9月14日(金)	9時～17時	本学
	第2回 (秋学期第1回)	平成25年2月25日(月)～2月27日(水)		
バイオサイエンス研究科	第1回	平成24年10月9日(火)～10月10日(水)		
	第2回	平成25年2月28日(木)～3月1日(金)		
物質創成科学研究科	第1回	平成24年8月27日(月)～8月30日(木)		
	第2回 (秋学期第1回)	平成25年3月6日(水)～3月7日(木)		

・受験者個々の実施日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

## 5. 合格者の発表及び入学手続

	試験区分	合格発表日	入学手続
情報科学研究科	第1回	平成24年9月21日(金)	平成25年2月下旬
	第2回	平成25年3月1日(金)	平成25年3月下旬
	秋学期第1回	平成25年3月1日(金)	平成25年9月下旬
バイオサイエンス研究科	第1回	平成24年10月22日(月)	平成25年2月下旬
	第2回	平成25年3月11日(月)	平成25年3月下旬
物質創成科学研究科	第1回	平成24年9月3日(月)	平成25年2月下旬
	第2回	平成25年3月11日(月)	平成25年3月下旬
	秋学期第1回	平成25年3月11日(月)	平成25年9月下旬

それぞれの発表日の午前10時(予定)から本学事務局玄関横掲示板に掲示するとともに、本学ホームページ(<http://www.naist.jp/>)でも合格発表をします。

なお、掲示・インターネットでの確認が不可能な場合は、合格発表日に合格者受験番号一覧を速達で送付しますので、住所氏名を記入した長形3号(24cm×12cm)封筒(350円切手貼付)を出願書類に同封してください。

出願資格(2)(4)(6)(8)(10)の者については、入学手続時に修了証明書を提出することが入学要件となります。万一、本学入学までに修士の学位が取得できない場合は入学資格がありませんので、注意してください。

## 6. 入学時納付金

(1) 入学料 282,000円(予定額)

(2) 授業料 平成25年度春学期分267,900円(年額535,800円)(予定額)

- ・入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。
- ・授業料の納付については、申し出により春学期分の納付の際に秋学期分も併せて納付できます。

## 7. 出願資格(11)(12)の者の資格審査

出願資格審査申請期限(期限必着)

	情 報	バイオ	物 質
第 1 回	平成 24 年 7 月 30 日(月)	平成 24 年 7 月 9 日(月)	平成 24 年 6 月 18 日(月)
第 2 回及び 情報・物質 秋学期第 1 回	平成 25 年 1 月 11 日(金)	平成 24 年 12 月 18 日(火)	平成 24 年 12 月 18 日(火)

提出書類

①出願資格(11)により出願しようとする者

提 出 書 類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙。(用紙は学生課に請求してください。)
卒業証明書	日本語以外の場合は日本語訳を添付してください。
成績証明書	当該大学が作成したもの。
業績調書	本学所定の用紙。(用紙は学生課に請求してください。) 専攻分野に関連する研究業績等については客観的知見等を簡明に記載してください。
研究従事内容証明書	本学所定の用紙。(用紙は学生課に請求してください。) 所属機関等が作成したもの。
各種免許証等参考になる と思われる書類の写し	(例) 研究論文、資格証明書、技能検定認定証明書、 英語検定認定証明書、取得特許・ソフトウェア開発説明書
審査結果通知用封筒	長形 3 号(24cm×12cm)封筒に 350 円の切手を貼付し、住所・氏名を明記し、朱書きで「速達」と記入してください。

②出願資格(12)により出願しようとする者

提 出 書 類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙。(用紙は学生課に請求してください。)
最終学歴卒業証明書	日本語以外の場合は日本語訳を添付してください。
最終学歴成績証明書	当該学校が作成したもの。
各種免許証等参考になる と思われる書類の写し	(例) 研究論文、資格証明書、技能検定認定証明書、 英語検定認定証明書、取得特許・ソフトウェア開発説明書
審査結果通知用封筒	長形 3 号(24cm×12cm)封筒に 350 円の切手を貼付し、住所・氏名を明記し、朱書きで「速達」と記入してください。

なお、審査の結果は出願期間までに通知します。

## 8. その他

(1) 納付した検定料及び提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 受験のための宿泊施設は各自で確保してください。

(3) 募集要項・大学案内の郵送による請求方法

角形 2 号(33cm×24cm)の返信用封筒〔必要額の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名とともに、朱書きで「〇〇〇研究科博士後期課程春学期学生募集要項・大学案内請求」と明記したもの〕を同封の上、下記照会先まで郵送してください。

料 金	募集要項・大学案内の請求	募集要項のみの請求
普通郵便	390 円	200 円
速 達	760 円	470 円

また、募集要項・大学案内は下記照会先で直接受け取ることもできます。

- (4)平成 24 年度秋学期入学の募集要項を請求する場合は、返信用封筒に朱書きで「〇〇〇研究科博士後期課程平成 24 年度秋学期入学募集要項請求」と明記し、上述(3)の請求方法に準じて請求してください。
- (5)独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、提出された個人情報（出願書類への記載内容及び試験成績）については、入学者選抜に係る業務（追跡調査を含む。）に使用し、当該目的以外には使用しません。
- (6)学生募集要項等に関し、不明な点がある場合は、下記へ照会してください。

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5  
奈良先端科学技術大学院大学 学生課 入試係  
TEL 0743(72)5083/5084 FAX 0743(72)5014 E-mail exam@ad.naist.jp